

研究にご参加いただける方を募集しています

【高照度光療法による月経前症候群及び月経前不快気分障害のプレゼンティズム改善効果】

月経前はいつもより...

イライラする 緊張感がある 気分の波が大きい 不安になる 泣く 制御できない感じがする
不眠 憂うつ

PMS / PMDD
月経前症候群 月経前不快気分障害

疲れやすい 食べたくて仕方がない 頭が痛い
むくむ

月経前の不快症状があなたの日常生活に大きく支障をきたす場合、その症状は月経前症候群/月経前不快気分障害（PMS/PMDD）によるものかもしれません。PMS/PMDDが重症であるほど、労働生産性が低下する（プレゼンティズムが生じる）ことが知られていますが、その病態メカニズムについては十分に理解されていません。我々は、PMS/PMDDにおける高照度光療法のプレゼンティズム改善効果を調べる研究を行っております。

＜ご参加いただける方＞

- ① PMS/PMDD症状を有する女性勤労者
- ② 20歳以上49歳未満の方
- ③ 正常月経周期を有する方（月経：25日～38日；変動が7日以内、出血：4～7日；変動が2日以内）

ただし、以下の基準に当てはまる方は、ご参加いただけません。

- ① 夜間勤務とシフト勤務の方
- ② 向精神薬の継続した服用が必要な方
- ③ 月経痛のコントロールを目的に適応外の薬剤の服用が必要な方
- ④ 光に過敏性を示す眼疾患・皮膚疾患をお持ちの方
- ⑤ 経口避妊薬を含めた女性ホルモン製剤の継続した服用が必要な方
- ⑥ 副腎皮質ステロイド薬及び免疫抑制薬の継続した服用が必要な方
- ⑦ 甲状腺機能低下症などの抑うつ症状を呈する可能性のある一般身体疾患を有する方

これ以外にもご参加いただくための条件があり、ご参加いただけない場合があります。

詳しい説明をお聞きいただける方は

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部

E-mail: a-kawamura@ncnp.go.jp 河村 葵

までご連絡下さい。